

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2024/12/16号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



70ドル台前半まで反発、EUが対ロシア追加制裁

NY原油先物相場は、1バレル=67ドル水準から71ドル台前半まで切り返す展開になった。シリアの内戦激化でアサド政権が崩壊したが、原油供給環境に対する影響は軽微との見方から、週前半は60ドル台後半で売買が交錯した。しかし、12月11日に欧州連合（EU）各国の大使がロシアによるウクライナ侵攻に関して新たな制裁を科すことで合意すると、ロシア産の供給不安を織り込む形で70ドル台を回復した。米欧がイラン核開発に対する制裁措置を再発動する可能性が警戒されたことも、週末に向けて原油相場をさらに押し上げた。

EUは16日に開催される外相会議で、ロシアに対する第15次制裁を正式に承認する見通し。ロシアが制裁を回避して石油取引を行うために利用している「影の船団」が制裁対象になる。老朽化して所有権が不明であり、保険適用も行われおらず、位置情報も不明のタンカーがロシア産石油の輸送を行っていると思われるが、EUはそこに対する制裁を強化することになる。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（12月6日時点）は、原油が前週比143万バレル減、ガソリン509万バレル増、石油精製品が324万バレル増となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

ロシアとイラン制裁の動きに要注意も、上昇余地は限定的か

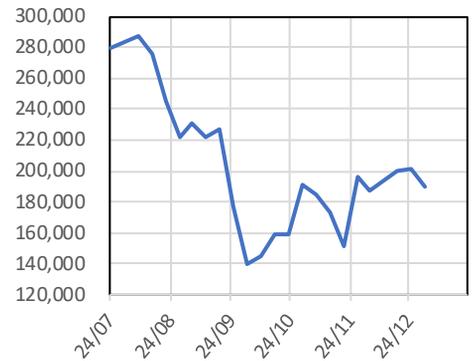
安値圏で売買が交錯しているが、70ドル台では売り妙味が大きい。前週は欧州連合（EU）が対ロシア追加制裁で合意したことが、原油相場を押し上げた。米国でもトランプ新政権への移行前に追加制裁を行うべきとの議論があり、新たな制裁措置が発表されるとアルゴ系ファンドが買いで反応する可能性は想定しておく必要がある。また、イラン核開発問題を巡る議論が活発化していることにも注意が求められる。ただし、供給環境に大きな変化がみられないのであれば、先高観の形成は難しい。改めて上値の重さを再確認する見通し。

国際エネルギー機関（IEA）は12月12日に発表した月報で、2025年は石油輸出国機構（OPEC）プラスが減産縮小計画に着手しない場合でも、日量95万バレルの供給過剰が発生するとの見通しを示している。OPECプラスが計画通りに3月末から減産縮小に着手すると、140万バレルまで供給過剰が拡大するとした。何ら供給障害が発生しない場合には、需要の伸びをカバーする十分な供給量が確保される見通しであり、価格リスクは下向きになる。

一方、IEAも市場ショックが事前の警告なしに発生する可能性には注意喚起を行っている。シリアの内戦を受けて周辺の地政学環境が不安定化しているが、改めてイスラエルとイランの軍事衝突といった動きが見られると、75ドルの節目に迫る可能性は排除されていない。

12月17～18日には米連邦公開市場委員会（FOMC）が開催される。0.25%の追加利下げが確実視されているが、2025年の利下げペースについては不確実性が大きい。ドルの反応にも注目したい。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



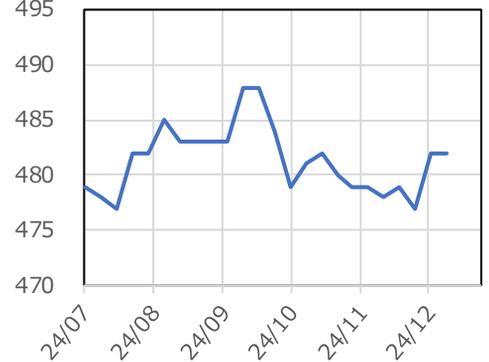
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

